

幸松地区公民館・幸松第二公民館

◇ 運営の基本方針

生涯学習拠点施設として、地域住民の身近な学習・交流活動の場として親しみをもって来館できる公民館を目指す。

◇ 重点施策

- 1 地域住民の健康増進と住民相互の理解と交流を深め、学習機会の充実と公民館利用の促進を図る。
- 2 家庭教育の充実と青少年の健全育成を図る。
- 3 各種関係組織・団体との連携を図りながら、事業展開を図る。

◇ 重点事業

- | | |
|------------|---------------------|
| 1 こうまつ寺子屋 | 2 家庭教育学級 |
| 3 むかしの遊び教室 | 4 幸松地区体育祭・幸松ふれあい文化祭 |

幸松地区公民館

所在地 〒344-0004 春日部市牛島 6 6 7 番地 1

TEL 048-752-6065

FAX 048-752-6065

E-mail komatsukou@city.kasukabe.lg.jp



幸松第二公民館

所在地 〒344-0007 春日部市小湊 7 3 番地 1

TEL 048-761-5510

FAX 048-761-5510

E-mail komatsu2kou@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長（兼務）	今井達哉
	主査（兼務）	當間雄一郎
	主任（兼務）	石井春花（社会教育主事）
	主事（兼務）	段春菜
	フルタイム（兼務）	大石富美代
	フルタイム（兼務）	和田泉

幸松地区 1

事業名 テーマ	スポーツ広場 バドミントン・卓球の施設開放		対 象	一般		定 員	バドミントン6名 卓球24名	
ね ら い	体育室をバドミントン・卓球の会場として無料開放し、スポーツを通じて健康増進を図ると共に地域住民の交流を深める。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	3	
会 場	幸松地区公民館 体育室		教 材 資 料 等	ラケット・シャトル・球・卓球台・ネット・支柱等				
実施までの経過	公民館だよりに掲載		PR方法	公民館だより「ふじの里」にて、実施日の前月、前々月に案内する。				
			受付方法	新型コロナウイルス感染症防止のため開催日の1か月前から受付受付				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
4月4日(日) 1月16日(土)	8:30～12:30	体育室を無料開放する。 第一・第三日曜日 8:30～10:00バドミントン 10:00～12:30卓球 第二土曜日 9:00～12:30	実技	130	235	365		
43回	88時間30分			130	235	365		
企画運営上の工夫	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、用具の貸し出しは行わず、各自ラケット等の道具を持参するように徹底した。							
成 果 参加者の声など	初めて参加する人には常連の人が利用の仕方を教えており、準備・後片付けについても参加者同士が協力しあってスムーズに行われており、地域住民等のふれあいの場となっている。 また、参加者が卓球のサークルに入ることもあり、サークル活動の活性化にもつながっている。							
課題と展望	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止を余儀なくされたが、楽しみにしている方が多く、日によっては参加者が定員寸前になるほど盛況である。市民の交流・健康増進の場となっている事業であるので、利用者には引き続き感染症対策を行ってもらった上で次年度も続けたい。							

事業名 テーマ	子育てサロン		対 象	乳幼児とその保 護者		定 員	10組	
ね ら い	親子で気軽に立ち寄り、育児の不安・悩みなど、子育てについて共に学び、親子が集う 場とする。							
協力機関 及び団体	幸松地区民生委員・児童委員協議会 更生保護女性会		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4	
会 場	幸松地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	オモチャ・絵本・工作用具等				
実施まで の 経 過	公民館だよりに掲載		PR方法	公民館だより「ふじの里」 子育て情報メール				
			受付方法	新型コロナウイルス感染症防止のため 事前受付				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
4月21日(水)中止	10:00～11:30	毎月第3水曜日 乳幼児を持つ家庭の親 子同士の交流・情報交換	遊び 対話	0	0	0	 	
5月19日(水)				0	2	2		
6月16日(水)				2	9	11		
7月21日(水)				4	4	8		
8月18日(水)中止				0	0	0		
9月15日(水)中止				0	0	0		
10月20日(水)				2	6	8		
11月17日(水)				4	6	10		
12月15日(水)				5	9	14		
1月19日(水)中止				0	0	0		
2月16日(水)中止				0	0	0		
3月16日(水)中止				0	0	0		
6回	9時間			17	36	53		
企画運営上 の 工 夫	・毎月、季節に合わせた簡単な工作などを企画し、参加者の興味を引くよう工夫した。 ・コロナ禍の開催であったが、会場全員のマスク着用、手指の消毒を徹底したうえで実 施。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	リピート率が高く、アットホームな雰囲気の中で、親だけではなくスタッフも、子どもたち の成長を感じることができた。参加者からは「子どもだけではなく、親もリラックスして楽し める」などの感想をいただいた。							
課題と展望	・一度参加するとリピートしてくれる親子が多いので、さらに工夫を凝らした企画を考え、 参加者を増やしていきたい。 ・親同士・子ども同士の交流の場や、育児の息抜き・気分転換の場となっているので、 今後も継続していきたい。							

幸松地区 3

事業名 テーマ	こうまつ寺小屋 ① ハンカチブローチ作り ② 小学生サイエンス教室「化学のたのしさにふれよう！」 ③ マンガで読む老後の備え・その後の手続き ④ 星空観察教室		対 象	① ③ 一般 ② ④ 小学生とその保護者		定 員	① 20名 ② 20組 ③ 30名 ④ 30名	
ね ら い	市民生活に身近な素材を取り上げ、地域住民の教養を高める。							
協力機関 及び団体	① 幸松婦人会 ② 埼玉県立春日部東高校 化学部 ③ ④ 生涯学習市民推進員		特 色 位置づけ	③ ④ 生涯学習市民 推進員共催事業		SDGs の目 標No	4	
会 場	① 幸松地区公民館 研修室 ② ③ ④ 幸松地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	① ハンカチ・はさみ等 ② 実験セット ③ レジュメ ④ レジュメ・天体望遠鏡				
実施ま での経 過	3月上旬 ① 企画立案・講師決定 4月1日(木) ① 講師依頼 4月下旬 ② 企画・立案 6月10日(木) ② 講師依頼 7月上旬 ③ 企画・立案 8月上旬 ③ 企画・立案・打合せ 9月10日(金) ③ 講師依頼 10月7日(木) ③ 講師依頼		PR方法	公民館だより「ふじの里」 ポスター掲示・チラシ配布				
			受付方法	① 4月7日(水)から窓口へ参加費200円を添えて申込み ② 6月15日(火)から窓口・電話申込み ③ 10月1日(金)から窓口・電話申込み ④ 11月10日(水)から窓口・電話で申込み				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
5月30日(日)	13:00～16:00	ハンカチブローチ作り	実習	0	19	19	幸松婦人会手工芸委員	
7月29日(木)	10:00～11:30	小学生サイエンス教室	実習	21	23	44	春日部東高校 化学部	
11月25日(木)	10:00～12:00	マンガで読む老後の備え・その後の手続き	講義	5	11	16	生涯学習市民推進員(行政書士) 赤堀良孝	
12月12日(日)	17:00～19:00	星空観察教室	講義 実習	15	22	37	草加天文愛好会 三田明	
4回	9時間30分			41	75	116		
企画運営上 の工夫	① 地元婦人会と共催で行うことにより、地域内の連携を図る。 ② 子供たちが実験に興味を持ち、楽しく学習することができるよう、実験内容を充実させた。 ③ 内容はマンガを用いてわかりやすく実用的な内容としてもらった。 ④ 天体望遠鏡等を使うことで、子どもたちに天体観測への興味・関心を持ってもらうきっかけとした。							
成 果 参加者の 声 など	① 「また参加したい」「親切でわかりやすかった」との声が多く、盛況であった。 ② 「家ではできないことができてよかった」「様々な実験ができてよかった」との声をいただいた。 ③ 「知りたかったことがわかった」「マンガが分かりやすかった」との声をいただいた。 ④ 「望遠鏡で惑星などが見られてよかった」「説明が分かりやすかった」などの声をいただいた。							
①		②		③		④		
課題と展望	① 手工芸に関する要望が多いため、関係団体に依頼し継続していく。 ② 今後も化学の楽しさを知ってもらう機会を創出していきたい。 ③ エンディングノートや遺言書の書き方などより掘り下げた講座が求められており、今後も開催について検討したい。 ④ 雨天でも参加者をがっかりさせないような内容を今後も検討していく必要がある。							

事業名 テーマ	ストレス解消！ ボクシングエクササイズ		対 象	一般		定 員	各回15名	
ね ら い	市内のスポーツ施設との連携により、地域住民の健康と体力向上を目指す。							
協力機関 及び団体	アイル・オーエンス・東武緑地グループ		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	3・4	
会 場	幸松地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	動きやすい服装・タオル				
実施までの経過	5月上旬 企画・立案・講師決定 6月1日(火) 公民館だより発行 申込受付開始		PR方法	公民館だより「ふじの里」6月号掲載				
			受付方法	6月1日(火) 午前9時から幸松地区 公民館窓口または電話にて受付 (先着順)				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
6月24日(木)	10:30～11:30	ボクシングエクササイズ	実技	0	15	15	株式会社オーエンス 健康運動指導員 河辺 幸子	
7月1日(木)	10:30～11:30	ボクシングエクササイズ	実技	1	14	15		
7月8日(木)	10:30～11:30	ボクシングエクササイズ	実技	0	13	13		
3回	3時間			1	42	43		
企画運営上の工夫	・対象を成人男女することで男女関係なく参加できるようにした。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から運動中のマスク着用、入口での検温と手指の消毒、常時窓を開けて換気を徹底する。							
成 果 参加者の声など	・「普段使わない筋肉を動かして気持ちよかった」「高度な運動ができ、よかった」「いい汗がかけた。もっと長くてもよかった」など、参加者からは大変満足との声をいただいた。							
課題と展望	参加者の半数以上から継続的に参加したいとの声をいただいている。 ボクシングエクササイズに限らず、体育施設との連携で普段できないスポーツを企画し、今後も地域住民の健康・体力向上を図っていきたい。							

幸松地区 5

事業名 テーマ	幼児家庭教育学級 ① 音と遊ぼう！ ② 親子で楽しくkidsビクス！		対 象	未就学児とその保護者		定 員	各10名	
ね ら い	幼児期の発育を正しく理解し、家庭における教育の在り方について学ぶ。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4	
会 場	① ② 幸松地区公民館 講堂		教 材 資 料 等					
実施までの経過	6月中旬 ① 講師派遣依頼 6月30日(水) ① 講師打合せ 8月1日(日) ① 公民館だより掲載 9月1日(水) ① 申込み受付開始 子育て情報メール配信 2月16日(水) ② 講師と打合せ 2月20日(日) ② 講師依頼 2月25日(金) ② 安心安全メール配信 3月2日(水) ② 申込み受付開始		PR方法	① 公民館だより ② 子育て情報メール				
			受付方法	① 9月1日(水)午前9:00より公民館 窓口または電話で申込み。 ② 3月2日(水)午前9:00より公民館 窓口または電話で申込み。				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
10月6日(水)	10:00～11:00	手作り楽器演奏 ボール遊び等 キッズビクス フラフープ等を使用して 音楽に合わせて身体動 かして遊ぶ。 	交流 活動	2	6	8	NPO法人リトミック 研究センター公認講 師 栗岡 一 矛 日本こどもフィットネ ス協会公認インスト ラクター 加藤 啓子	
3月24日(木)	10:30～11:30		交流 活動	3	17	20		
2回	2時間			5	23	28		
企画運営上 の 工 夫	① ② 親子同士のふれあいを楽しむ場をつくることで、 親子のコミュニケーション作りの手助けをする。							
成 果 参加者の 声 など	① 参加した保護者からは「楽器の制作、歌、踊り などどれも楽しかった」との声をいただいた。 ② 参加した保護者からは「親子で身体を動かすことが 出来て楽しかった」との声をいただいた。							
課題と展望	今回好評であったことから来年度も実施を検討したい。 アンケート結果も参考にし、参加者のニーズにあった事業を開催したい。							

事業名 テーマ	幸松地区体育振興会 ① 幸松スポーツまつり ② 第20回スマイルボウリング大会 ③ 第13回幸松地区グラウンドゴルフ大会		対 象	① 地区在住者(小学生以上) ② 地区在住者(小学4年生以上) ③ 地区在住の成人		定 員	① 100名 ② 12チーム(1チーム5名) ③ 16チーム(1チーム3名)	
ね ら い	地区内住民が気軽に参加でき、高齢者をはじめあらゆる年代層で楽しめるスポーツ大会を開催することにより、住民の健康と体力の向上及び親睦をはかり健全な地域の発展をめざす。							
協力機関 及び団体	幸松地区体育振興会		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	3・4	
会 場	① 幸松地区公民館 ② 幸松地区公民館 体育室 ③ 牛島小学校 校庭		教 材 資 料 等					
実施ま での 経 過	4月17日(土) 第1回体育振興会理事会開催		PR方法	公民館だより6・8・10・12月号				
	5月15日(土) 体育振興会総会 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議で対応)							
	5月22日(土) 第2回体育振興会理事会開催		受付方法	① 7/6(火)から電話もしくは直接窓口へ申込。 ② 11/7(日)～11/28(日)までに直接公民館へ申込。 ③ 10/17(日)～11/7(日)までに直接公民館へ申込。				
	7月24日(土) 第3回体育振興会理事会開催 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため⑥の開催日時を変更)							
	10月10日(日) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止							
	12月12日(日) 第20回スマイルボウリング大会開催							
	1月16日(日) 第13回グラウンドゴルフ大会開催							
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
① 10月10日(日)	9:00～12:00	幸松スポーツまつり(中止)	競技	0	0	0	幸松地区体育振興会	
② 12月12日(日)	9:00～12:00	第20回スマイルボウリング大会	競技	6	35	41	幸松地区体育振興会	
③ 1月16日(日)	9:00～12:00	第13回グラウンドゴルフ大会	競技	14	28	42	幸松地区体育振興会	
2回	6時間			20	63	83		
企画運営上 の 工 夫	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスクの着用、手指消毒や検温の徹底、換気も十分にを行い、競技を実施した。 ・参加者について、会場で密にならないように定員を設定して開催をするよう配慮した。 ・表彰は、成績上位者だけでなく飛賞などを設けて参加者が少しでも楽しめるようにした。							
成 果 参加者の 声 など	① 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止にした。 ② ・③ 賞品をもらえてうれしかったとの声や参加者同士の交流も図れ、楽しい時間が過ごせたとの声が多く聞かれ大変好評であった。							
課題と展望	来年度以降についても、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながら、内容を精査して実施していきたい。							

幸松地区 7

事業名 テーマ	公民館利用者合同　オープン講座 ①「カラダの不調を整えるヨガ」 ② リラックス&アクティブヨガ		対 象	一般		定 員	20名	
ね ら い	利用団体と公民館で共催の事業を実施することで、定期利用団体の会員増加につなげるとともに各団体の活動を広め、幸松地区の活性化に寄与する。							
協力機関 及び団体	① 幸松ロコモヨガ ② キャメル		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4	
会 場	幸松地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	① ② ヨガマット				
実施ま での 経 過	4月上旬 ① 企画・立案・講師決定 5月上旬 ① 打合せ 6月1日(火) ① 公民館だより発行 申込受付開始		PR方法	① 公民館だより「ふじの里」6月号 ② 公民館だより「ふじの里」10月号				
	5月上旬 ② 企画・立案・講師決定 7月下旬 ② 打合せ 10月1日(金) ② 公民館だより発行 10月6日(水) ② 申込受付開始		受付方法	窓口にて参加団体を随時受付				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
6月29日(火)	9:30～11:00	骨盤低筋群を鍛える	実技	2	11	13	幸松ロコモヨガ シャオレイ キャメル 曾根 恵理子	
7月20日(火)	9:30～11:00	免疫力UP！	実技	2	10	12		
11月18日(木)	10:00～11:00	リラックスヨガ(リラックス)	実技	0	11	11		
12月23日(木)	10:00～11:00	体をねじるヨガ(アクティブ)	実技	0	6	6		
4回	5時間			4	38	42		
企画運営上 の 工 夫	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から参加者及び講師のマスク着用、受付時に検温の実施、手指の消毒を徹底する。 ・性別や年代関係なく参加が出来るよう、対象を一般とした。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	①「体が軽くなった」「わかりやすかった」など概ね満足であった。 また、参加者の半数以上がサークル活動として今後も活動したいとも申し出があり、この事業を機に新規サークルを立ち上げることができた。 ②「眠っていた細胞が動き出したようで体が楽になった」「丁寧でとても分かりやすかった」と満足の声をいただいた。今回講師を務めた講師がおこなっている既存のサークルのメンバーを増やすきっかけとなった。							
課題と展望	新規事業ということもあり、参加団体への浸透が今後の課題になってくる。 利用団体と地域住民の学習活動の充実のため今年度も引き続き実施していきたい。							

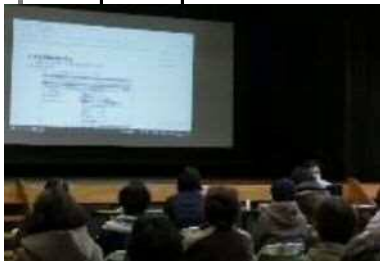
事業名 テーマ	第67回幸松地区体育祭	対象	幸松地区内住民	定員	定めず		
ねらい	地区内住民が気軽に参加できる、地域をあげての体育・レクリエーションの祭典で、住民が主体となって開催し、健康と体力の向上及び親睦を図り健全な地域の発展をめざす。						
協力機関 及び団体	幸松地区自治会連合会・幸松地区体育振興会	特色 位置づけ		SDGs の目 標No	3・11・17		
会場	東中学校 校庭	教材 資料等	競技用具一式				
実施までの経過	5月29日(土) 春日部市民体育祭実行 委員会で中止を決定	PR方法	未定				
		受付方法	未定				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
10月10日(日)	9:00～15:30	内容未定	競技	0	0	0	
0回	0時間			0	0	0	
企画運営上の工夫	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。						
成果 参加者の声など	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。						
課題と展望							

幸松地区 9

事業名 テーマ	第33回 幸松ふれあい文化祭	対 象	公民館利用者及び幸松地区に在住・在勤・在学する方で、文化祭の趣旨にご賛同いただける方		定 員	定めず	
ね ら い	地域の住民の文化・スポーツ活動の学習成果の発表の場及び地域住民のふれあいの場とする。						
協力機関及び団体	主管:第33回幸松ふれあい文化祭実行委員会 協賛:幸松地区自治会連合会	特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・11 12・17	
会 場	幸松地区公民館 全館	教 材 資 料 等					
実施までの経過	6月1日(火) 公民館だよりに掲載 7月1日(木) 申込受付開始 8月下旬 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止を決定 9月15日(水) 文化祭関係者あてに文書にて中止連絡	PR方法	公民館だより「ふじの里」6月号掲載				
		受付方法	7月1日(木)～7月31日(土)の間に窓口の申込用紙に記入の上提出				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
11月13日(土)	13:00～16:00	展示・体験・食品販売・ステージ上映		0	0	0	
11月14日(日)	10:00～15:30			0	0	0	
0回	0時間			0	0	0	
企画運営上の工夫	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。						
成 果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。						
課題と展望	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため文化祭自体は中止となったものの、代替案として文化祭においてステージ上映、展示を希望する団体による「ロビー上映会」と「ロビー展示」を幸松地区公民館1階ロビーを使用して実施した。今後も感染症対策を講じた実施となることを想定し、その時機に合わせた方法で出来ることを実施する必要があると考えられる。						



事業名 テーマ	小・中学生期家庭教育学級		対 象	小・中学生の保護者及び家庭教育に関心のある人		定 員	未定	
ね ら い	小・中学生期における家庭教育の重要性を認識するとともに、親として望ましい在り方を理解し、明るく豊かな家庭づくりを目指す。							
協力機関 及び団体	共催：東中学校・同PTA、幸松小学校・同PTA、牛島小学校・同PTA、小渕小学校・同PTA 更生保護女性会（託児）		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4	
会 場	幸松地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	未定				
実施ま での 経 過	9月15日(水) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小中学校長及びPTA役員あて事業中止を決定		PR方法	未定				
			受付方法	未定				
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
12月上旬	10:00～12:00		講演	0	0	0		
0回	0時間			0	0	0		
企画運営上 の 工 夫	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。							
課題と展望	小・中学生期の子供を持つ親御さんの力になれるような講演を実施できるよう、PTA役員の方と連携して来年度も開催していきたい。							

事業名 テーマ	利用者のつどい		対 象	公民館利用団体		定 員	各団体2 名以下	
ね ら い	公民館利用者と公民館の連絡及び利用者相互の交流の場とする。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4	
会 場	幸松地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	公民館利用団体利用案内				
実施まで の 経 過	12月1日(水) 公民館だよりにて案内 申込み開始		PR方法	利用団体へ案内文を配布 公民館だより「ふじの里」12月号掲 載				
			受付方法	12月1日(水)から1月13日(木)まで に公民館窓口にて受付(各団体2名 まで)				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
1月20日(木)	10:00～12:00	公民館利用に関すること サークル・団体運営に関すること スマホで施設予約 消火訓練	説明 説明 説明 実技	7	35	42	職員説明・質疑応答 職員説明・質疑応答 職員説明・質疑応答	
								
1回	2時間			7	35	42		
企画運営上 の 工 夫	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者を各団体2名までとした。 ・会場全員のマスク着用、入口での検温、手指の消毒を徹底したうえで実施。 ・個人のスマホを用いた施設予約の方法を案内することで、公民館窓口以外でも予約 ができるようになる。							
成 果 参加者の 声 など	・公民館利用に関する内容の再認識の場となった。 ・個人のスマホを利用して施設予約方法を学習してもらった。 ・消化訓練では参加者に水消火器による初期消火を体験してもらうことが出来た。							
課題と展望	日頃の公民館活動における疑問点や意見などを伺うことが出来るよい機会であるた め、今後も公民館利用者にとって有意義な集いになるよう心掛ける。							

幸松地区 13

事業名 テーマ	人権問題研修会		対象	公民館利用団体		定員	各団体2名以下	
ねらい	私達の身近にある、様々な人権問題を正しく理解し、差別に対してどう行動すればよい か考え、学ぶ。							
協力機関 及び団体	社会教育課		特色 位置づけ			SDGs の目 標No	10	
会場	幸松地区公民館 講堂		教材 資料等	人権研修ビデオ				
実施まで の経過	12月1日(水) 公民館だよりにて案内 申込み開始		PR方法	利用団体へ案内文を配布 公民館だより「ふじの里」12月号掲 載				
			受付方法	12月1日(水)から1月13日(木)まで に公民館窓口にて受付(各団体2名 まで)				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
1月20日(木)	11:00～11:30	人権研修 人権啓発DVD 知りたいあなたのこと ～外見からはわからない 障害・病気を抱える人～	鑑賞	7	35	42		
1回	30分			7	35	42		
企画運営上 の工夫	利用団体が一同に集まるこの機会に人権研修を行い、より多くの人に人権問題を意識 してもらおうきっかけとなるようにした。							
成果 参加者の 声など	DVD鑑賞をとおして実際に生涯や病気を抱えた方々の辛さや悩みを知ることができ、 偏見や差別意識を払拭する一助となった。							
課題と展望	利用者のつどいと同時に開催しているため、参加者が利用者のつどいに参加している 人に限定されてしまっている。今後はその他の方にも参加してもらえるような方法を考え ていきたい。							

事業名 テーマ	こうまつ音楽祭		対 象	一般		定員	70人	
ね ら い	誰もが楽しめる楽曲による音楽鑑賞会を開催し、芸術文化に親しむ機会を提供する。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4	
会 場	幸松地区公民館 講堂		教 材 資 料 等					
実施ま での 経 過	10月下旬 企画・立案・出演折衝 11月7日(日) 打合せ 12月1日(水) 公民館だよりに掲載 1月16日(日) 講師依頼 1月下旬 新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止決 定		PR方法	公民館だより12月号				
			受付方法	1月8日(土)より幸松地区・第二館 窓口にてチケットを配布(先着順)				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
2月12日(土)	13:30～14:40	弦楽アンサンブル演奏	演奏	0	0	0	春日部交響楽団	
0回	0時間			0	0	0		
企画運営上 の 工 夫	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							
課題と展望	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため演奏会が中止になったものの、当日までに定員の70名を超える申し込みがあった。来年度も幅広い年代に親しんでもらえるような楽曲を提供し、芸術文化に触れる機会の創出を検討する。							

事業名 テーマ	公民館だより「ふじの里」発行	対 象	幸松地区全戸	定 員	—
ね ら い	幸松地区内住民への公民館事業及び地域行事の情報提供を行う。				
協力機関 及び団体		特 色 位置づけ		SDGs の目 標No	4
会 場		教 材 資 料 等			
実施まで の 経 過	発行月初め 発行月上旬 ～中旬 発行月下旬 偶数月1日	編集会議 作成 印刷・梱包 発行	PR方法		
			受付方法	掲載依頼記事は、前月の10日まで	
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者 男 女 合計	講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数		計	計	
年6回偶数月発行		公民館主催事業等の 情報などを提供 約8,700部/回を配布			
6回					
企画運営上 の 工 夫	公民館事業については見やすく、興味をもたれるような紙面づくりを心掛けた。 利用サークルの会員募集や、他の公民館・他課の情報も出来る限り掲載するようにした。 掲載内容が多い月はA3の用紙サイズとすることで、見やすく情報提供することを心掛けた。				
成 果 参 加 者 の 声 な ど	主催事業の参加者にアンケートをとると、事業を知ったきっかけは公民館だよりという回答が大半を占める。公民館だよりの発行は、地域住民にとって、公民館事業を知る主な手段となっている。				
課題と展望	事業実施報告や参加者の声なども掲載する紙面や見やすい紙面作りを考えたい。				

事業名 テーマ	折り紙で作るクリスマス飾り ポインセチア(ポット飾り)		対 象	一般		定 員	10名	
ね ら い	昔ながらの遊び心で余暇の活用と物を作る楽しさを体験してもらい、参加者同士が交流しながらふれあいを深める機会とする							
協力機関 及び団体	ピーマン		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4	
会 場	幸松第二公民館 大会議室		教 材 資 料 等	折り紙・ボンド・定規				
実施までの経過	7月中旬 講師折衝 8月中旬 打合せ 10月1日(金) 公民館だより10月号 11月上旬 掲載ポスター掲示 11月中旬 告知メール配信申込 受付開始		PR方法	公民館だより「ふじの里」10月号掲載、ポスター掲示、安心安全メール配信				
			受付方法	11月20日(土)9:00～幸松第二公民館窓口、または電話にて定員になり次第終了。材料費200円は当日徴収				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
12月8日(水)	10:00～12:00	季節の作品 クリスマス ポインセチア(ポット飾り) を折り紙で作る 	実習	0	16	16	ピーマン 中山 ナホ子	
1回	2時間			0	16	16		
企画運営上の工夫	・公民館ロビー展示した作品の評価が良かったので、ステイホームでも簡単にできる季節に合った作品の講座を公民館利用サークルに依頼した。 ・コロナ禍で事業の実施が限られる中、密にならないよう少人数で大きな会場を利用し、感染対策防止を徹底し安心して参加できる対策を整えた。							
成 果 参加者の声など	・参加者からは「実際に折ってみると繊細でなかなか難しかったが、丁寧に教えていただき満足できる作品に仕上がった。」「途中分からなくなったが、先生に教えていただき出来上がってうれしいです。」「クリスマスに飾りたいと思う。」「もっと作ってお友達にあげたい。」「難しい部分もあったのでグループに分かれて指導してもらえると良かった。」など、おおむね好評の結果が得られた。 ・募集人数以上の参加申込みがあった。							
課題と展望	・はじめての参加者にも好評だったので、今後も折り紙の講習を楽しんでもらえるよう企画していきたい。 ・講師以外に急遽2名がサポートに加わり時間いっぱいだったので、講師の説明の方法や参加者の構成などが改善の課題となる。 ・協力団体のサークルに興味を持った参加者が数名いたので、新規会員開拓の足がかりとなるような内容を検討していきたい。							

事業名 テーマ	幸松第二公民館利用者作品展示		対 象	幸松第二公民館 利用サークル 来館者		定 員	—	
ね ら い	公民館利用サークル会員に発表の場を提供するため、ロビーを展示スペースとして活用し、地域住民に鑑賞の場を設け、季節感を感じてもらう。							
協力機関 及び団体	参加希望サークル		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4	
会 場	幸松第二公民館ロビー		教 材 資 料 等					
実施まで の 経 過	4月～3月 随時展示作品申込 毎月初旬作品展示 毎月末作品入替		PR方法	公民館だより、公民館ブログ				
			受付方法	・窓口にてロビー展示申込(随時) ・自由観覧				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
4月～3月		各月・季節に因んだ作品 展示 				ピーマン 金曜会 松寿会		
12ヵ月								
企画運営上 の 工 夫	作品を創作している団体に声をかけ展示依頼をする。 公民館だより「ふじの里」で周知し、来館者に観賞してもらう。 季節感のある作品を展示し、発表の場を兼ねて実施する。							
成 果 参 加 者 声 な ど	季節を感じる作品を来館者に興味を持って観ていただき喜ばれた。 出展者から作品を披露できたことで喜ばれた。 作品の展示を通して公民館利用者からの希望により公民館事業を実施し、新たにサークル加入の意欲を引き出した。							
課題と展望	展示依頼する団体が限られてしまうことから、展示内容の変化などにより、新たな視点で広く興味をもってもらえる作品展示に努めていきたい。 新たな活動参加者を掘り起こすきっかけの事業として展開していく。							